〔第二府〕〔京濱配達〕〔明治五年一月九日第三種郵便物認可〕昭和十年四月二十六日 金曜日 日新報 （金曜日） 第一万二千五百九十六號 （一）

臺灣日日新報

四月二十五日 印刷納本 午前四時三十分 発行 午前七時 発行所 臺北市北門町四丁目 臺日新報社 電話 一番

酒 鈴 楓 宝 庵

支那の親日態度に 日本は乘り過ぎた

其影響は意外に惡い 有吉公使が廣田外相に報告

【東京二十四日發】有吉駐支公使は二十四日午前十時二十分より外務省に於て廣田外相と會見、以下各部長等と列席正午迄支那に於ける情勢報告を爲し、次で直ちに大臣室に於て廣田外相と會見二十三日に到着の電報に基き歸朝の目的は一時歸朝して有吉公使は本年初より支那が新日滿經濟ブロック確立の爲め採つた各種の施策に對し日本内地の反響を大體に於て承知してゐるが、日支關係は直ちに大局に關し國民一般に深甚なる影響を與へるものであるから、此際一應歸朝して日支關係の現狀を具體的に説明し、且つ日支關係の將來に對する帝國政府の方針に關し政府當局と懇談の上、今後の對支工作を果して如何なるものであるかを決定する必要があるので、此の點に關し廣田外相と打合せを爲すと共に、有吉公使の歸朝を機會に、日支關係の將來に對する帝國政府の方針に關し、廣く本邦各方面の意嚮を聽取し、之を參考として、今後の對支工作を樹立するの

大破の峨眉公學校は あすから野外で授業

箸を持つたまま歿死の老婆 廢墟に等しい庄役場附近

（峨眉にて桑原特派員）今回の震災で今日迄未だその情況が紹介されてゐないと云ふ新竹州竹東郡下の震害と救護情況を報ずるに、廿四日早朝新竹から二路に北行する竹東街の被害は新竹と大差なく北埔では殆んど全戸民家は殘つた五分程度の被害で僅かに北埔から相思樹を經て居るもの二十數名に過ぎず、官舍のトタン、杉板を運ぶ男女が踏襲と續く、峨眉一千人口左側に位置する部落九十戸が完全に潰されたが死者十三名はせめてものことだ、罹災民は廿一日夜は死體の發掘に熱中したが廿四日朝から厨房の殘骸に取り掛つてゐる、家屋の瓦、土塀、柱の下を鍬で手當り次第に掘れてしまつたであらうものを切りに掘り人々の哀れさ、破れた屋根の隙間から出れば掘れた庭から出る、小さな竹箱子が至んで姿を現はすと思ふと泥塑れの乾魚出る、掘る人々は一言も發しない、廢墟に石住左往する人々は多いが何と聲援な光景だらう、此方はバラックの中で小兒が熟睡してゐる、その枕元で姉でもあらうか位の女兒がバケツの中の汁を鍋杓子によそつて與へてゐる、地中の柱を掘り出して搬んで行く老爺がある、バラックに持つて行くのであらう、庄役場前の一本柱として崩れた事務所の前に一本柱として崩れた事務所の前に一本柱として崩れた事務所の前に

朗らかな見合！

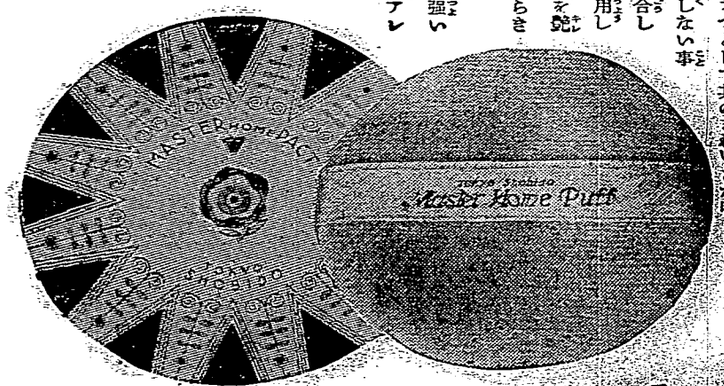
…あ、そう…ちや早くお帰りになるのねエ夫やよかつたわ、あのウあなたの一等好な…ホホそうよ、モチ私の次だけど、とてもお好な人が今日夕刻上京つて今しがた電話が來たの、たれが判るウ…愛？あゝ愛ちやんちやないの…え、そうホホ。黒坊チヤンなんて…どうせ私の妹ですもの仕方がないわよ、ホホそ言えば今度こそ美代様の見合をきつと成功さしたいつて、私達共同のあのサラツと艶々、爽かなマスターバニシングとホームパクトのカカオ色を妾つたでせう、あれがとても効果的だつたのですつて！第一お姐様は美代チヤンの肌を沁々と眺めて白粉を塗たらしくなくつて何してこんなに地肌が生々白くなつたのうつて不思議がるし、兄様まで…是や全くアラツとすら程美代の肌が好い匂がするよつてお鼻をクンクン云す騒ぎなんですつて！だから美代ちやんも、肌の黒い心配なんかフッ飛んで、とても朗らかな、見合だつたつて大喜びで報てきてさしたの、え、そら夫に花むこ様は松竹の林長二郎サンそつくりで長サンの大好なマスターバニシング煮なんですつて、眞に細い事まで話し合つたらしいのよホホ、ですから今度は乾度上々吉なのでお嫁入の仕度を調へに來るのよキツト、ホホ…えちやア美代様と花むこ様の共用にマスターバニシングをお祝に上げさせうホホ…ちやあなた早くお歸りなさい——

化粧台の新女王！

マスターパック

ムーホ

▲化粧下がなくてしつとりとした自然化粧が出來る
▲化粧上りがサラつとして其のきれいさが明朗無比で變色しない事
▲美肌物質が配合してあるので常用してゐると地肌を艶美にするはたらきがあること
▲肌を引ふ力が強いから日ヤケ肌アレを防ぐこと



ホームパクトの特徴

サラ！と爽かつ

ムーホ マスターバニシング クリーム

常用すれば地肌まで

美容士　西澤勇志智

つい最近に香の座談會を催じました折に松竹の田中サンが如何にも不思議そうに私に話された事ですが、白粉クリーム、オークルマスターとマスターホームパクトを常用かけてから何だか地肌まで美白になりましたので嬉しさうに仰言るのです是は頬のない美肌物質應用のお陰なのです。

若肌の魅力！

田中絹代談

妻の日毎にまします地肌の美白さ…この若肌をつくるには外出の前後！お就寢前の數分！あの肌ざわりの柔らかな……

マスターコールドでお顔と首を輕くマッサージするにかぎります、そうなされば脂肪や垢がサッパリとれ▲小皺▲シミを防ぎ、何時も貴女の肌は生々とはりきつた若肌…そうです、彼氏の心を朗かにする美肌になります。私の大好なコールドを御勸めします。

九重爲救震災民
御賜金十萬圓
入江侍從捧持渡臺
全力復舊救恤
圖報皇恩萬一
兒玉拓相謹話

東京二十四日電。兒玉拓相謹話如左。

九重欣救恤臺灣大震災罹災民。二十四日下賜十萬圓。入江侍從二十四日午後三時捧持御下賜金。啓程渡臺。

去二十二日。參內拜謁。特旨奏聞。災況。奏曲奏聞。全力復舊救恤。恐懼感激。圖報皇恩萬一。

兒玉拓相謹話如左。

此次臺灣震災。被害甚大。衛生方面等。亦須注意。

又竹山鹿谷兩庄役場。及線路通勤之警察官。各郡役所員。實深勞苦云。

震災映畫

各會場觀衆多

本社映畫班撤影之大震災實況映畫。其第二報。即消水。嗣岡方面震災實況。去二十四日午後七時。在新公園。同七時半。在老松公學校。及鹽水港。同八時半。在稻江會館。先後映出。各會場觀衆麕集。無震災地視察。二十六日午前九時。在西門町消防詰所檢點。同六時半。至中央噴水。放水消火。演習後解散。同八時起。組合幹部。乘自動車數臺。分散防火宣傳單於市內。

竹山鹿谷
送慰問品

中松竹山郡守。柳瀨街庄長。林朝槐竹山庄長。去三十二日。赴中部北方震災地視察。翌二十三日歸來。據郡守謂災害甚大。想更大。擬糾集慈善團。即於二十四日午前六時。用貨物自動車三臺。滿載糾匊。及醬菜醬油等類。各分配一臺。由內山庶務課長。渡邊勤業主任導引。逕往內埔。贈該地罹災民也。

設置假病院五處
收容負傷者全部
新竹州死體收拾完畢

新竹州下罹災民救護。至二十四日午前六時。用貨物自動車配去清水及內埔。寄附者來池氏四石八十。許江氏四石八十。湖氏四石八十。吳李霞氏四石八十。汪侯猛氏四石八十。侯德榮。鄭世分。楊琴。機通裕機。協盡。各會場觀衆麕集。無震災地。罹災民。及倒壞家屋。歷然在目。一般觀衆。深爲同情云。

消防宣傳

▲臺南　去二十四日全國消防日。臺南消防組。於是日朝夕六時。續鳴電笛。各派出所。則警鐘亂打。報知全市。藉以喚起防火思想。夜州署前之消防塔。則飾以明滅電燈。映出火品及各方面。施以外科的應急處置。然現在負傷者。散在。醫師來診。負傷者。應急療治。送院。以是今後欲集患者于各地。即在頭分。苗栗。大湖。卓蘭。獅潭五處。設置假病院。州土木課片岡技手及雇三名。因公殉職。

北港拜媽祖
獲免災害

二十二日北港媽祖大祭。災地之新竹。臺中方面。赴北港參拜者。園體有二千餘名。皆免受災難。因之川心等子。而市公會堂。現在負傷者。散在。醫師來診。負傷者。應急療治。送院。以是今後欲集患者于各地。即在頭分。苗栗。大湖。卓蘭。獅潭五處。設置假病院。州土木課片岡技手及雇三名。因公殉職。

新竹州下小公學校被害
不能即時授業
總計十四校

仕本島人。率先募集義捐金。而臺中州同鄉會花蓮港本部。提出三百圓。林朝槐。許聰敏。兩氏外三名。各醵出百圓。至二十四日。遂千百三十五圓。將送交督府。託其適當處分云。

臨埕住民
納涼路上
宣傳交通道德

高雄山本島人街之鹽埕町方面。店鋪櫛比。往來之人繁鳥。然街內花柱者。無交通道德觀念。每至薄暮。多作路上納涼。爲是自動車。人力車。自轉車驅馳路上。頗感危險。且多發生事故。高雄署極力管束。一面爲促其自覺。一面爲宣傳交通道德觀念云。

兩州應急措置費
或逾百萬圓
全部用義捐金充當

總督府攷慮本部。因鑑罹災者救助。要在急速。乃極力將救護材料。搬送現地。而罹災救助基金。本年度支出。新竹五萬圓。臺中六萬圓。然總督府。之要應急處置。亦決由右基金內融通。無此罹災資金支出。僅限于炊出。架屋。應急醫療。學用品。被服費等。應急措置者。只此費用。合兩州。村越過百萬圓。是故內外義捐金。全部充之。又不足之時。由第二預備金。爲國庫補助支出。現正調查中。此外若鐵道。道路橋梁等復舊。亦依依調查後。又第二預備金支出。著手工事。在一般復興資金。欲圖低利資金融通。就依租稅免減之罹災街庄。財政計畫。現亦考慮中云。

漁船照榮丸
機關故障
漂抵香港

高雄州知事。去二十日午後五時半。接到第二十八區隊司令電報。謂台雄漁業組合所屬照榮丸。五十噸。船長山田亨一外十名。前月二十八日發高雄在海南島方面捕漁。本月十日將歸航。因機關故障。十三日漂抵香港。乘組員全部無事。爲要修繕費。及補給食糧。將漁獲物賣却。又岡山郡湖內庄頂茄苳人。蔣淵柔外五名。乘發動機船金福丸。出港岡山附近。翌來消息不明。由船主對都警察課。提出搜金願云。

臺南州下三橋
或成或將成

既報臺南州中央道路之朴子。八掌。台文三溪橋。架設工事。自興工後。進行順遂。如朴子。八掌兩溪。既於去十六日竣工。近檢查。而曾文溪。亦定本月中完成。就中朴子溪橋。凋五米。長二百米。總工費十三萬五千。八掌溪橋。凋同。長二百四十米。工費十七萬七千圓云。

稻江信川組
或將成

稻江信川組合。金二百五十圓。臺北一師男。女生徒金二百二十圓。天理教臺灣傳道廳。臺灣瓦斯會社。臺灣土地建物會社。義和祥行。德記合名會社。各二百圓。個人林煌灶。金二百圓。杜漢鰲氏。木村嶋女士。各百圓云。

嘉義市義捐
總動員

嘉義市。同情今回震災。全埕或大廳。能否。即時授金。而臺中州同鄉會花蓮港本部。提出三百圓。林朝槐。許聰敏。兩氏外三名。各醵出百圓。至二十四日。遂千百三十五圓。將送交督府。託其適當處分云。

崖崩壓傷

南投郡南投街包尾庄水牛坑之女庄民翟岡。年十三。去二十三日午前十時。在包尾牧場附近陳草中。忽山岸之土崩下。被壓。負傷死滅。檢查當時。崖上有同村人吳文。王振盛二人開斫。或因是震其土崩下。現受驗渡司法主任檢究云。

獎栽果樹

南投街。自昭和七年來。獎栽果樹。多利用宅地之隙。數年來成模糊。實不惡。乃決定信編獎成費。所欲獎栽之品種。已定爲檳榔。晚白柚。檸檬文旦柚。其他等。而獎勵栽植。近日竣表云。

臺南
檢查智能

東京高師教授田中寅一博士。爲檢查盛地學校生徒智能。來臺。去二十朝渡南。調查南神社。下午檢查第二中學生徒。觀察市內各處。

團體個人
義捐續報

中川總督。既發电于廳。

園體大阪商船會社。金二萬圓。白鶴協納合各會社。金二千圓。電力會社。各員。

巡視醫院
慰問傷人

中川總督。既發电于廳。

更赴東勢郡石岡公學校。

原郡守假出迎。受庄下街庄長敍禮。總督有鄭重慰問詞。繼由郡守報告災害狀況。親祭間部落實況。乃赴臺中醫院。訪問負傷者。百四十五名。津野田院長報告。部落震災時治療狀況。及其後之經過。並衛生施設。對可治療者。將似覺寡少。亦不幸中之幸。因應急處置。州當局自不待言。經各街庄處置。差可安心。唯此後要加注意。努力于復興。至于建築。因此次被害。本島人亦應金支出。僅限于炊出。而吾人以後須十分自覺。而吾人以後須十分考慮。天皇陛下亦深軫念。欲奉答御叡慮。對被害地復興。期勿遺憾。以後勿令發生流行病等。須各自十分注意。最後對內地各方面之非常同情。深表感謝之意云云。

對震災地應急處圖復興
臺督駐節臺中談

▲臺督。爲傷病者之治療。收容于一處之臨時屋。務使島內。復永時篇。一詩題。爲不周至者。甚望對此打擊。不撓不屈。以一大勇猛心。努力于復興。至于建築。

震災悲慘中
竟露惡性

此次震災悲慘中。頗有令人厭惡之惡俗惡性。如災害最烈之臺中內埔。庄醫師黃周。呂世明二氏。外十名。乘此媚問罹災民。慰問金。由參拜者。即大甲郡及豐原郡震害。去二十一日。參到。去二十四日午前十一時。各懸女句。由參拜者。捐現金二百六十圓。五十七錢。一切交付市尹。代爲設法云云。

員林米商
賑恤白米

臺中州員林郡員林驛受檢米業者。即大甲郡及豐原郡震害。去二十一日。參到。去二十四日午前十一時。各懸害地視察。見其慘狀。莫不爲之同情。一同歸員後。乃議定醵出白米。壹石。寄附白米五石。又彰化市黃周。呂世明二氏。外十名。乘此媚問罹災民。慰問金。由參拜者。即大甲郡及豐原郡震害。去二十一日。參到。去二十四日午前十一時。各懸女句。由參拜者。捐現金二百六十圓。五十七錢。一同歸員後。乃議定醵出白米。壹石。

彰化市民
設法捐款

彰化市北門胡榮外十四名。去二十三日午後一時。寄附白米五石。潭衣二十貫。甘藷五百斤。又彰化市南門許木桂外一名。去二十三日午後一時。寄附白米八石。彰化綿布兩親睦合員有志。去二十四日午後十一時。寄附白米五石。又彰化市。今日本大臣。直將恩旨。傳之臺灣總督。使之佰注全力。復爲救恤。用報皇恩之萬一。

總督訪問災地
深情慰問災民
回想豐原內埔之慘狀

中川總督。帶同林山祕書。警視藤井。技手。及屬員。自動車到豐原郡役所。宗藤郡守報告狀況。

對負傷者。本欲收容于臺中醫院。而致意于入院。料不入院。遂即日（二）十三日。免除入院料。臨時屋建築六百五十戶。急進工事。飲料水汲用。後里圳水。然偏決濱杜絕。乃受臺中市供給。自二十四日。由大安溪取水。其他救助。發圍死屍。物資供給等。並就以後之建築地。而總督則有宜注意。今後之名之情況。巡視龜裂後。寮以國筋混凝土建築校舍。

員林米商
賑恤白米

總督亦發悲痛。繼赴內埔。公學校。慰問兒島校長外。職員四家族二十七名中。職員三名。慰問死十三名。去二十一日。參到。去二十二日。參到。去二十三日。參到。去二十四日。參到。去二十五日。參到。去二十六日。參到。去二十七日。參到。去二十八日。參到。去二十九日。參到。去三十日。參到。去三十一日。參到。去三十二日。參到。去三十三日。參到。去三十四日。參到。去三十五日。參到。去三十六日。參到。去三十七日。參到。去三十八日。參到。去三十九日。參到。去四十日。參到。去四十一日。參到。去四十二日。參到。去四十三日。參到。去四十四日。參到。去四十五日。參到。去四十六日。參到。去四十七日。參到。去四十八日。參到。去四十九日。參到。去五十日。參到。去五十一日。參到。去五十二日。參到。去五十三日。參到。去五十四日。參到。去五十五日。參到。去五十六日。參到。去五十七日。參到。去五十八日。參到。去五十九日。參到。去六十日。參到。去六十一日。參到。去六十二日。參到。去六十三日。參到。去六十四日。參到。去六十五日。參到。去六十六日。參到。去六十七日。參到。去六十八日。參到。去六十九日。參到。去七十日。參到。去七十一日。參到。去七十二日。參到。去七十三日。參到。去七十四日。參到。去七十五日。參到。去七十六日。參到。去七十七日。參到。去七十八日。參到。去七十九日。參到。去八十日。參到。去八十一日。參到。去八十二日。參到。去八十三日。參到。去八十四日。參到。去八十五日。參到。去八十六日。參到。去八十七日。參到。去八十八日。參到。去八十九日。參到。去九十日。參到。去九十一日。參到。去九十二日。參到。去九十三日。參到。去九十四日。參到。去九十五日。參到。去九十六日。參到。去九十七日。參到。去九十八日。參到。去九十九日。參到。去一百日。參到。

滿洲國皇帝陛下
參拜嚴島神社無恙
宮內省發表

林接伴委員。

調查局長官
要身健常識
高橋藏相談

東京二十五日電。高橋藏相。相談伴如左。

籌開義捐電影大會
訂來廿七八兩夜
會場假稻江會館

臺中。新竹兩州下。震災慘狀。令人不忍目睹。內外各地仁人志士。深表同情。而在北斗種團體。如新民研究會。定來二十八九兩夜。臺開義捐電影大會。會場假稻江會館。其收入料金全部。充爲義捐金。現正由該會活動云。

朴子街媽祖
如例舉祭

東石郡朴子街配天宮。媽祖祭典。及神輿遶境。經各團體。爭奇鬪巧等情。不遑去二十一日。忽接新竹廳中二州地震死傷報。遂多提議繁閙。中止者。然因各團準備費多支出。難行中止。不得已如例行事。作動各團體節約。充作震災救恤金。以表微意。

杭州反日會
嚴命解散
貨勢或暢銷

上海二十四日電。杭州反日會。當此日華兩國關係好轉之際。依然執拗活動二十日。迭行政院長赴杭州。斷然嚴命解散。二十四日。正式手續。今後該會依舊例。一月中開臨代會。

倫敦銀塊又昂

倫敦二十四日電。二十四日。倫敦銀塊行情。現物三十二片十六分十三。先物三十二片十六分十五。

紐育亦大奔騰

紐育二十四日電。二十四日。紐育銀塊行情。起七十一仙八分五。即凌米國政府新產銀買鎖之七十一仙而上之二。

彰化媽祖大祭典
數日間約六萬餘人進香
參拜者更多連日甚混雜

謂人山人海之熱鬧云。

彰化南瑤宮媽祖。往南北港進香。既如所報。去二十一日夜半。由彰啓程。途中平安。則二十四日午後一時。進香團員。約六萬餘名。分路數次抵彰。是人馬公。必有他目的。被告等遇跨風。因無中國海經驗。致惹起問題。決無他意。竝否認接受通報。

花蓮港本島人
率先義捐
今回大震災。花蓮港街在

臺東廳。今回新竹。臺中兩州下大震災。擬募集義捐金。二十三日在廳會議室。開磋商會。有藤山庶務課長。以各係長。赤城七星街長等出席決定。即下急施設。義捐金一千圓。將情通牒于各支廳。區長。著手募集。

臺東廳釀出
按一千圓

臺東廳。今回新竹。臺中兩州下大震災。擬募集義捐金。二十三日在廳會議室。開磋商會。有藤山庶務課長。以各係長。赤城七星街長等出席決定。即下急施設。義捐金一千圓。將情通牒于各支廳。區長。著手募集。

新莊
煙酒總會

新莊酒類。煙草食鹽小賣人組合。定二十五日午前九時半起。在新莊公會堂。開第一回定期總會。附議事項如左。

一、昭和九年度歲入歲出決算之件。

一、昭和十年度豫算之件。

一、評議員會。

新莊公學校同窓會長林世南氏。去二十六日午後七時半起。在新莊街役場二階。召集評議員會。協議同會財產之新設信用組合等分派事之爭。

南投
信組總會

南投郡下信組。除差營業合外。定二十五日。參會外。

人事

▲宮內省主殿頭兼掌典。正四位勳三等。子爵。德大寺公純。去十九日老病去世。享壽六十有三。

▲宮內省式部官。從四位勳三等。男爵。入江爲守。去十九日午後四時。在代硒家坟宿。

▲臺南　去二十四日全國消防日。臺南消防組。於是日朝夕六時。續鳴電笛。各派出所。則警鐘亂打。報知全市。藉以喚起防火思想。夜州署前之消防塔。則飾以明滅電燈。映出火品及各方面。施以外科的應急處置。然現在負傷者。散在。醫師來診。負傷者。應急療治。送院。以是今後欲集患者于各地。即在頭分。苗栗。大湖。卓蘭。獅潭五處。設置假病院。州土木課片岡技手及雇三名。因公殉職。

▲嘉義　嘉義消防組。因防組員及壯丁團員。集合在西門町消防詰所檢點。同六時半。至中央噴水。放水消火。演習後解散。同八時起。組合幹部。乘自動車數臺。分散防火宣傳單於市內

（京濱聖鐘）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

臺灣日日新報社
臺北市北門町二行目
電話　代表番號　一八〇〇番
編輯用　二三八〇五番
營業用　二三八〇三番
秋香塾内　野崎陸平

本紙一部五錢　一ケ月前金壹圓五拾錢　三ケ月前金四圓八拾錢　六ケ月前金九圓參拾錢　一ケ年前金拾八圓
定價表　日本國内及支那北方各地一ケ月前金四圓五拾錢　壹ケ年前金五拾四圓
廣告料　普通廣告壹行一回金拾錢　二回金拾五錢　三回金貳拾錢　五回金參拾錢　特別廣告壹行一回金貳拾錢　二回金參拾錢　三回金四拾錢　五回金五拾錢
廣告申込所　臺灣日日新報社商事課　臺北市北門町二行目　臺中　臺南各支局
發賣所　臺灣日日新報社　臺北　臺中　臺南各支局
八枚一組金十錢　送料金二錢

夏ヒツダ中央公論社發行

五月號

臺灣の風俗を見よ

本田發責

中央公論

清兼佐宗

臺灣工業化と電力問題

有澤廣巳

日支關係の將來

馬場恒吾

内田信也と島田俊雄

益田豊彦

歐洲の戰爭と英國の動向

高橋正雄

世界經濟の四大勢力

長谷川如是閑

獨逸の再軍備宣言

中野正剛

英國の對日感情

杉山平助

日支關係の將來

石濱知行

清朝の滅亡

上司小剣

日本の國際的地位

岡本一平

支那の新聞

鈴木文史郎

支那の民族性

松風

支那の政治

田中惣五郎

支那の社會

澤村幸夫

支那の文學

林語堂

支那の藝術

清水澄子

支那の婦人

上村希美

支那の家族

宇野圓空

支那の宗教

鷲尾順敬

支那の科學

服部宇之吉

支那の教育

吉田小五郎

支那の外交

矢野仁一

支那の軍閥

佐伯矩

支那の財政

神戸正雄

支那の貨幣

阪谷芳郎

支那の金融

深井英五

支那の貿易

青木得三

支那の交通

小竹文夫

支那の人口

高田保馬

支那の農業

天野元之助

支那の工業

加藤繁

支那の都市

仁井田陞

支那の村落

戴國煇

支那の土地制度

支那の租税

支那の幣制

支那の金融機關

支那の國際貿易

支那の國際收支

支那の國際的地位

支那の將來

支那の人口問題

支那の人口

支那の農業

支那の工業

支那の都市

支那の村落

大震災と經濟

尚影響

復興早ければ緩和も出來る

一

今回の震災が本島の經濟界に如何なる影響を及ぼしたか、又今後如何に影響するであらうかを究明する問題である、而してそれは被害の程度と復興の遲速如何に係ること、ころであるが、被害の程度に就ては死傷者は固より家屋の全潰、半潰、大破等の損害、見積總額二十三、四萬圓に上り、其の分布中州下七百二十一萬餘圓、新竹州下五百二十三萬餘圓と發表されてゐるが、之等は固より大體の見當であらうが、此外に官有、學校等の損害もあり、又鐵道、道路は山嶺の隧道、橋梁等總て平地のところが多いだけに復舊約六百萬圓を要すると云はれて居り、その大部分を官費の負擔に俟つことゝなつた。又被害地面に無數の被害等を加ふれば尚ほ多くとも百萬圓内外で一千萬圓を突破するものと見なければならぬ。

二

此外に電信、電話、電力、鐵道の被害、即ち、鉄塔、電柱、牛其他家畜の斃死、日ぐ何と一ヶ月ばかりてみるならば直接被害額外多くなりはせぬか、又鐵道の不通を始め諸機關、商店の被損による一時的收入減、其他間接の損害も相當に見積らなければならぬが、それは始らく措き金額に代られない人命以外の直接損害を假に二千五百萬圓としてその二十四分の一に當るわけである、近年本島を襲つた各種震災の經驗に照しく輕微の部類に屬するものと云ひ得ざる

世界的の製帽地
震災で殆ど全滅
善後策を講じつつあるが
當分復舊の見込なし

【臺中特電】大甲郡の中心地清水街は、世界的に進出せる帽真圓を以て聞ゆる所謂大甲帽生産の殆ど全部の集散地として、これが為め

天使

(56)

横光利一 原作

宮田重雄 畫

六の二

京子は駄ッ子を宥めると、髪を撫ではせたが、すぐかまた感傷的な言葉を探すでもなかった。

明石さんは、この頃貞子さんの様子が何時になく変ってゐて、淋しいと思ひましてよ。

「あの子は、京子さんが好きです。」

と明石はきっぱりと云った。京子の顔は、厳粛だった。

「あたから、そんなことを云ふものは嫌ひなんですよ。」

「どうしてです？」

「考へてごらんなさい。」

「わかって、そうかね。」

しかし、どうして、こんなに敏感したのだらうと、彼は考へた。

さうだ、雪子の事からだ。だがさうだ、雪子と自分とは、何だと云ふのだ。

雪子と山下公園を散歩した日の、楽しさを思ひ浮かべたけれども、それも、すべては過ぎて、今は何の感情も起らなかった。

それより、明石には、今、新しい仕事が始まってゐるのだった。

それは、彼が見つけた、故郷の伊豆の、石廊山の鍾乳洞であった。

京子はどうしたものか、ひどく即とは返って、上の空で、化粧室から戻って来た。

「もう、今日は失礼しましてよ。」

「何かて？」

「もういいのよ。」

二人は黙った。

「京子さん、あなたのために、私は、一度、あなたに、話さなければならないことがあるんです。」

「さうですか。」

「でも、また来るかもしれなくつてよ。あたし、もう自由になったんだから、あなたの所へ、すぐいらっしゃらなかったんです。ここは、あなたの来るべき処ぢゃありませんよ。」

「あたし、叱られに来たんやないわ。」

「だから、ここより、行くべき所があると云ふんですよ。」

「ちゃ、あなたは、まだあたしと縁を、縁を切りたいんですの。」

「もう、かうなれば、同じことないですか。僕は、あなたが、気の毒に、忠実に、一生一度なって戴きたいと、それだけ願ふだけですよ。その他の事は、何もして戴かなくてもいいんですよ。僕は、あなたに、何も、して戴くことはありませんね。あなたは、寺島には、無理だったんですからね。いつぺんは、それも振り返って考へてみなければ、あなたの価値は、ないやないですか。」

と京子は云って、靴を向いた。

「ここよりさきには、云はなくちゃ、あなたなんか、分りつこはないですよ。僕は、君に代って、云ってるんですよ。その男は、あなたには、何もして戴かないんですからね。」

「もう、帰山と京子は云ふと、立って北窓の方へ出て行った。明石は、邪魔をしに引き上げようかと思った。もうこの上京子と喜べても、哀れはやみさうにも思へなかった。

(四面物使野和一第)

ラヂオ

午前の部

【六・三〇】朝の挨拶・ラヂオ體操

今日の北京の天気予報と注意事項

【七・〇〇】全國気象通報（東京）

【八・〇〇】家庭メモ（東京）

【九・三〇】育児の時間（放北）・臺北醫院小兒科森田孝子

【一〇・〇〇】家庭料理獣立（臺北第二師女田中龍栄）人参瓜のトマト煮込ほうれん草のスープ

【一一・〇〇】日用品小売価格（臺北市西門町臺設表）・臺北市西門町臺設表

午後の部

【一二・五〇】正午の時報・気象通報（臺北のみ）・臺北觀測所發表

【〇・〇〇】放送局報導（臺北のみ）

【〇・〇〇】番組説明時間（レコード演奏）・臺北觀測所發表

【一・〇〇】講演・婦人と家庭（臺北）・臺北市役所社會課長 金太郎

【一・二〇】家事と洗濯・三田村鈴木一雄

【一・四〇】ピアノ獨奏・アルフール・ルービンスタイン作曲「ベルソルカ」（ショパン作曲）

【二・〇〇】気象通報（臺南のみ）・臺南測候所發表

【二・一四】気象通報（東京）

【五・〇〇】子供の時間（京城）・童謡・水兵の少女・伴奏李泰鎭

【二・四〇】童謡・唱歌（臺北）・童謡「雨降り」「船頭さん」・唱歌「春よ来い」「春の小川」・臺北第二師女生徒

【三・一〇】童謡・唱歌（臺北）・童謡「蛍」「六兵衛」・唱歌「僕は兄さん七つ」・唱歌「春の便り」「八百屋」・唱歌「春の曲」「お嫁さん」・臺北第二師女生徒

【五・〇〇】コドモの新聞（東京）

【五・一五】幼稚園十五（臺北）

【五・三五】幼稚園（臺北）・初等科第九課「十村（二）」

【五・五五】カレント・トピックス（東京）

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間（臺北）・童謡「探偵ゴッコ」「助手選び」（銀座）・大正浪漫の巻（小松原せいじ原作）・あけぼの児童会

【六・三〇】博物館（臺北）・植物の名前に就いて・旭川安田

【七・〇〇】震災特別講演（臺北）・震災地を踏破して・臺北市役所社會課長 田邊五兵衛

【八・〇〇】時報（東京）

【八・二〇】モダン漫才（臺北）・ヤン・ヤ・ノボル・ヤン・ヤ・ユウゲツ

【八・三〇】長唄（臺南のみ）・「浦安」・「小鍛冶」・臺南新報社

【八・五五】マンドリン合奏（臺北）・マンドリン・オーケストラ指揮大塚敬一・キャラバンマーチ（ハンマーチョッキー作曲）・ロマンチョッキー作曲）・ロマンチョッキー作曲）・ロマン

時代の反映

産業組合經營の農倉が激增

金融をするのがその強み　現在既に卅六ケ所に達す

高雄州（大正十一年認可）△屏東、大正十一年認可）△恆春、大正十一年認可）△旗山、大正十一年認可）△鳳山、大正十一年認可）△阿緱、大正十一年認可）△潮州、大正十一年認可）△東港、大正十一年認可）△林邊、大正十一年認可）△佳冬、大正十一年認可）△枋寮、大正十一年認可）△枋山、大正十一年認可）△恆春、大正十一年認可）△滿州、大正十一年認可）△車城、大正十一年認可）△獅子、大正十一年認可）△牡丹、大正十一年認可）△高雄、大正十一年認可）△鳳山、大正十一年認可）△阿緱、大正十一年認可）△屏東、大正十一年認可）△恆春、大正十一年認可）△旗山、大正十一年認可）△滿州、大正十一年認可）△車城、大正十一年認可）△獅子、大正十一年認可）△牡丹、大正十一年認可）

臺北州（大正十一年認可）△瑞芳、大正十一年認可）△金包里、大正十一年認可）△三芝、大正十一年認可）△石門、大正十一年認可）△淡水、大正十一年認可）△新莊、大正十一年認可）△板橋、大正十一年認可）△中和、大正十一年認可）△蘆洲、大正十一年認可）△五股、大正十一年認可）△汐止、大正十一年認可）△深坑、大正十一年認可）△石碇、大正十一年認可）△坪林、大正十一年認可）△烏來、大正十一年認可）△新店、大正十一年認可）△金山、大正十一年認可）△萬里、大正十一年認可）△瑞芳、大正十一年認可）△金包里、大正十一年認可）△三芝、大正十一年認可）△石門、大正十一年認可）△淡水、大正十一年認可）△新莊、大正十一年認可）△板橋、大正十一年認可）△中和、大正十一年認可）△蘆洲、大正十一年認可）△五股、大正十一年認可）△汐止、大正十一年認可）△深坑、大正十一年認可）△石碇、大正十一年認可）△坪林、大正十一年認可）△烏來、大正十一年認可）△新店、大正十一年認可）△金山、大正十一年認可）△萬里、大正十一年認可）

新竹州（昭和九年）△竹東、昭和九年）△中壢、昭和九年）△楊梅、昭和九年）△新屋、昭和九年）△觀音、昭和九年）△桃園、昭和九年）△龜山、昭和九年）△大溪、昭和九年）△龍潭、昭和九年）△關西、昭和九年）△湖口、昭和九年）△竹東、昭和九年）△中壢、昭和九年）△楊梅、昭和九年）△新屋、昭和九年）△觀音、昭和九年）△桃園、昭和九年）△龜山、昭和九年）△大溪、昭和九年）△龍潭、昭和九年）△關西、昭和九年）△湖口、昭和九年）

臺中州（昭和八年）△霧峰、昭和八年）△烏日、昭和八年）△大肚、昭和八年）△龍井、昭和八年）△沙鹿、昭和八年）△梧棲、昭和八年）△大甲、昭和八年）△清水、昭和八年）△后里、昭和八年）△豐原、昭和八年）△東勢、昭和八年）△石岡、昭和八年）△新社、昭和八年）△外埔、昭和八年）△大安、昭和八年）△霧峰、昭和八年）△烏日、昭和八年）△大肚、昭和八年）△龍井、昭和八年）△沙鹿、昭和八年）△梧棲、昭和八年）△大甲、昭和八年）△清水、昭和八年）△后里、昭和八年）△豐原、昭和八年）△東勢、昭和八年）△石岡、昭和八年）△新社、昭和八年）△外埔、昭和八年）△大安、昭和八年）

臺南州（昭和七年）△永靖、昭和七年）△南投、昭和七年）△埔里、昭和七年）△竹山、昭和七年）△集集、昭和七年）△名間、昭和七年）△鹿谷、昭和七年）△水上、昭和七年）△新港、昭和七年）△番社、昭和七年）△麻豆、昭和七年）△下營、昭和七年）△六甲、昭和七年）△官田、昭和七年）△大內、昭和七年）△山上、昭和七年）△新市、昭和七年）△安定、昭和七年）△永靖、昭和七年）△南投、昭和七年）△埔里、昭和七年）△竹山、昭和七年）△集集、昭和七年）△名間、昭和七年）△鹿谷、昭和七年）△水上、昭和七年）△新港、昭和七年）△番社、昭和七年）△麻豆、昭和七年）△下營、昭和七年）△六甲、昭和七年）△官田、昭和七年）△大內、昭和七年）△山上、昭和七年）△新市、昭和七年）△安定、昭和七年）

臺北州（大正十一年認可）△板橋、中和、蘆洲、利國（以上各組合昭和九年認可）△土林、松山（昭和十年認可）

新竹州（大正十一年認可）△中壢、楊梅、新屋、觀音、桃園、龜山、大溪、龍潭、關西、湖口（昭和十年）

臺中州（昭和八年）△霧峰、烏日、大肚、龍井、沙鹿、梧棲、大甲、清水、后里、豐原、東勢、石岡、新社、外埔、大安（昭和九年）

臺南州（昭和七年）△永靖、南投、埔里、竹山、集集、名間、鹿谷、水上、新港、番社、麻豆、下營、六甲、官田、大內、山上、新市、安定、關水港（昭和九年）△六甲、大內、山上、新市、安定、關水港（昭和十年）

高雄州（大正九年）△大岡（昭和九年）

以上の如く二十六ケ所の產組農倉のうち關廳信購販組合のみが大正十一年の認可に屬し、他はすべて昭和八年以後の認可となつてゐる。然らば何故にその間における農倉の設置が急激に增加したかといふに、從來產組農倉の事業といへば、それだけの資力がなかつたと、經營的に經驗した經驗組合の成績が思はしくなかつたことの理由を擧げることが出來る。ところが昭和八年以後急激に增加したのは如何なる譯かと昭和四年頃に臺中州東部の洪水、旱魃、病蟲害の經驗を始めとし、ランチン業務より得たる經驗上の技術を加味し且つ組合員から多大の信賴を受けつつ此の事業に從事した結果非常なる成功を收めたことに起因するものと思はれる。

農倉は農產物の保管、運搬、販賣等の設備を具へ、農產物の品質を改良し、其の價格を調節し、以て農家經濟の安定を圖ることを目的とするものであるが、其の設置が產業組合の事業として認められたのは大正十一年の產業組合令改正の時であつて、其の後產業組合の經營する事業の一として農倉業務が擴張されるに至つたのである。此の農倉業務は、其の後產業組合の經營する事業の一として農倉業務が擴張されるに至つたのである。此の農倉業務は、其の後產業組合の經營する事業の一として農倉業務が擴張されるに至つたのである。

震災＝鐵道事故も　『何のその』の好調

輸送力は前年以上

臺灣鐵道部が今回發表した昭和九年度上半期の營業收支概況によれば、收入は前年同期に比べて約百萬圓の增收を示し、支出は約四十萬圓の增加を示してゐるが、收支差引約六十萬圓の增益を示してゐる。これは昨年の震災、鐵道事故等の不祥事續出にも拘らず、輸送力は前年以上の好調を示したものである。

金融は最も重要な部門

震災＝鐵道事故も　『何のその』の好調

輸送力は前年以上

臺灣鐵道部が今回發表した昭和九年度上半期の營業收支概況によれば、收入は前年同期に比べて約百萬圓の增收を示し、支出は約四十萬圓の增加を示してゐるが、收支差引約六十萬圓の增益を示してゐる。これは昨年の震災、鐵道事故等の不祥事續出にも拘らず、輸送力は前年以上の好調を示したものである。

熊本博　大盛況

一日三萬の入場者

熊本博覽會に於ける觀覽狀況は出品からの來電によれば二十日より天候全く回復し、連日入場者二萬人餘を示し殺到を見つつあり、此の二十日間の天候は雨十日にして、實計八日間の好成績なり、入場者數は約二十四萬二千人となり、豫定入場者二萬人を突破すること數日中と目下二萬人の入場者は非常な成功だといはれてゐる。

島内契約の　火災保險

三億六千九百萬圓

鐵道部商工課調査の昭和十年一月末現在契約火災保險事業概況は同月末現在契約高は六萬八百五十一件三億六千九百一萬一千七百一圓にして前月に比し四百二十四件四千四百五十四圓增加を示し更に前年同月に比べれば八千七百四十四件三千六百六十一萬五千四十三圓の增加を示してゐる。

新竹州の春茶　五十萬斤の減産か

優良茶園に被害多く　工場で壞滅したものもある

昨年第一期葉茶に於ける內地への移出高は約二千五百萬斤であつたが、今年は其の約二割減位になるだらうと業者間に噂されてゐるさうだ。業者間の話によると、今年の減產は、一番茶は殆んど無く、二番茶も三分の一位、三番茶は半減位になるだらうといふ。

新蓬萊走り　廿八日內地へ移出

屏東以南に葉いもち無し

高雄州旗山の新一期蓬萊走り百六十五袋は二十六日檢査の上移出された。

全通は遲れても　一期蓬萊米の　輸送には影響無し　移出米商は安心

山線の

今次の大震災に關係し、運送が杜絶されたり、臺中線の通行止となり、十六分百間が開通するには尙ほ五ヶ月乃至半年を要すると云はれてゐるが、これがため月產七萬餘石に及ぶ臺灣米の產地に一大支障を生ずるものと憂慮されてゐるが、之に關し當局當業者間の談話を綜合すると、一期蓬萊米の移出期間は約二ヶ月間であるから、今後約三ヶ月位の間に全通すれば、一期蓬萊米の移出には何等の影響なく、又移出米商からは米穀統制案に伴ふ倉庫業法の改正の際、倉庫業者の自信を得たい、又倉庫業者

スポーツ

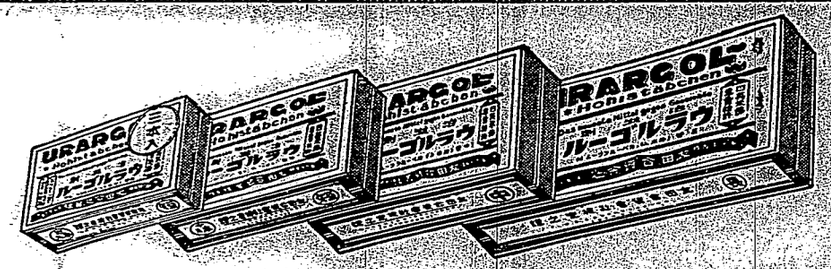
春の臺北競馬
一競馬5頭立も出現
投票は複式へ移動か
二十八日から四日間川端競馬場で

春の臺北競馬は二十八日(二十九の高砂、アカツキ兩賞典競走)から四日間川端競馬場で擧行されるが、スタンドの完成によつて馬場のコンディションが最惡ならざる限り小雨でも決行するとのこと、出走馬は四日六十頭(今の所)八勝馬としては甲班新呼馬、藤山(臺灣優勝馬)ナサンマタ、西日本同古呼馬ノーリツヤサカ(昇格勝馬)タイホウ、ヤマザン(昇格勝馬)クリサンテーム、ヘキレン(臺灣優勝馬)乙班新呼馬サンヒメトビオ、ヒーロー、ハナヤリ、ライメイ、高瀬、ニイタカ同古呼馬(ハツピー、荒熊、ヤマノ、鶴峰、ヨネヤマ)臺灣抽籤馬紀の國、クロヒメ、マツノ、ドキヤ、水山、テンコウ、速歩馬(綱島(入賞馬名ホムロ)クロツヤ(臺灣優勝馬)タイホウ、マツレー、カブリス、イデン(臺灣優勝馬)生粋馬として抽籤馬玉姫(速歩馬)グル、サなどが缺けてゐるが、今回は出走馬の増加によつて一競馬14頭立或は15頭立の競馬も出現するやうになつたから複式投票數の比率は從來式から複式への移動によつて低率になるのではないかと思はれるが、複式も投票分散による穴馬の配當を招來する點に於ては從來と變つてゐないから、結局從來より低率とはならないと見られてゐる。

尿道内の淋菌を死滅せよ!
然らざれば淋疾は容易に全治せず

淋疾を全治するには尿道内の淋菌を死滅することが絶對的に必要である。しかるに從來の内服藥は尿管を侵す尿道内粘膜の表面を一時的には消毒するが、根本尿道内の淋菌は容易に死滅しない。洗滌、注射或は水浴療のため、尿道强力にて血ち に外部へ押出し、尿道内殺菌時間は僅かに數分に過ぎず、且つ水壓力にて尿道括約筋を突破し、淋菌は他の汚物を併發する危險がある。

ウラルゴールは殺菌力强き銀鹽と、粘膜保護性に富む白蛋白質とを化學的に結合して粉末とし、此の粉末を直ちに溶解する所の容器に收めたもので、これを尿道へ注入すれば、外皮は直ちに溶解して内容の粉末は尿道粘膜に平等に分布密着して、數時間にわたり殺菌作用を營み、粘膜細胞組織に滲透して淋菌にまで浸透す、故にウラルゴールを根本使用すれば、初發淋疾は勿論の事、たとへ慢性尿道の淋疾と雖も其の效果は實に驚くべきものがある。慢性及再發は初め短時間を次に中管十本入を使用すべし、慢性か或は四年にわたる固疾慢性症は更に前記き長管十本入を使用すべし



附言
ウラルゴールに内容が發表されれば流淚注入、本品の殺菌的發生の如く後部へ滲透或他の藥物を混合する危險なく、又無刺激にて前作用强く使用法も頗る簡單にて安全、發音にも殆ど變化なし。

治療に要する本數——一日一本或は二本
使用に要する時間——一回僅か二、三分
殺菌作用特續時間——三時間より六時間

製品名あり、ウラルゴールの登録の商、たとへ慢性尿道の淋疾と雖も其の效果は實に驚くべきものがある。慢性及再發は初め短時間を次に中管十本入を使用すべし、慢性か或は四年にわたる固疾慢性症は更に前記き長管十本入を使用すべし

日英米佛製法專賣特許
ウラルゴールの種類と價格

短管三本入(淋菌用、初發淋用、小兒婦用)	一円七五
同　十本入(慢性及再發初試用品)	二円〇〇
中管十本入(男子用慢性及再發用)	二円三〇
長管十本入(男子用慢性固疾用)	二円五〇

製造賣捌所　東京市日本橋區本町三ノ一
登賣元　友田合資會社
電話日本橋(二八〇)二八一一・七四七九
振替口座・東京・一九三八

競馬點眼
十傑馬の平均速度

今春臺灣競馬場の含馬に付て一ハロン(二〇〇米)の平均速度をテストしその最良タイムをとつてベスト・テンを擧げると次表の如き數字が出て來る

順位	馬名	性齢	最良タイム	所屬	騎手
甲	鶴峰	牡七	一二・三	臺東	荒井
乙	紀の國	牡六	一二・三	臺東	又平
同	玉姫	牡七	一二・三	臺東	安藤
同	北ヤマレー	牡六	一二・三	臺東	上田
同	小ヤマ	牡六	一二・三	臺東	阿部
同	金花	牡六	一二・四	臺東	國分
同	第一トキワ	牡六	一二・四	臺東	山田
同	第二トキワ	牡五	一二・四	臺東	永井
同	第一ホマレ	牡五	一二・四	臺東	本村
同	第二ホマレ	牡五	一二・四	臺東	野口
同	第一ホマレ	牡五	一二・四	臺東	野口

最大實に六十糎の水平の喰ひ違ひ

震害地の實地踏査を終へた臺北觀測所の岡技手は語る

主震の方向を示す線、附近の煉瓦門、下は内埔公學校北方畑中の斷層

昨二十五日午前九時半頃から臺北觀測所の岡技手と鹿原は二十一日中部地方震災調査の為と共に同地に臨時地の震動調査に特派された、二十五日午後七時頃所に一泊を約ねる強行軍にて、震源地と覺しき地點に到着した、翌日は最も激しい内地方の調査をして來た訳で、昨朝歸臺した岡技手から震災の概況を聞いた

震央は、各地の初動發動時間と震動の強弱から推定し、又震災に關する見舞客に地震の狀態と實地の狀況を說明する為、臺北觀測所から出張した岡技手は、二十五日午後六時半基隆着船にて歸臺した、同技手は語る

救災恤難迷信宜除
收拾屍骸勿推諉
有人心者亟宜反省

北四中北部大震災。被害者。必能急人之難。隨國程度。意外厥狀。凡在同胞。無不表現惻隱念至情。或物質。或精神。無論島內外。無內臺人。多關心問。努力賑救。我皇室深仁厚澤。下賜內帑。人勇往邁進。此種迷信。乃民族之弱點。稍有人心正自救不暇。然一部村民。拘於迷信。不欲接近死骸。如此回歷死。體之措置。本島人多避不問。獨內地同仁矣。而災害地人士。或家屋倒潰。或人畜死傷之慘。又桃園街有某步紳。對於方案之勸捐救恤吾。竟敢寫以大本乞食。致被警察課員。某折腰謝過。始獲放歸。不可戒哉。

拓務省全職員
擬捐月俸二分
以慰問臺灣中部大震災

拓務省全職員。擬捐月俸百分一。爲慰灣中部大震災慰問金。嗣因全國官吏擬捐月俸百分一。直按關係省衙。不其與之同率。更擬增加百分一。爲月俸百分三云。二十五日東京來電。

政友派小高代議士
爲代表者慰問災民
今朝偕督府向導者南下

臺中。新竹兩州管內。此次震災。居民慘害。海內外。均極同情。本部唯一時半。與督府向導者。其他二人。先到新竹。而大政黨政友會。特派所屬代議士。小高長三郎氏。後各地。訪問各該地方官。以便視察慰問云。

地震多死傷
家屋構造大有關係
通衢道路亦要整備

督府小濱內務局長。爲視察罹災地。及慰問。拿連絡本部。自二十一日起三日間。踏查震地。至二十四日晚歸府。談如左。

救護方面

意外進步。二十二日。救護事務進行。臺中州下。即日分配。首由苗栗。視察至後龍因同年豪水害。此次再罹震災。殆見全滅。實屬可憫。新竹州。至大湖。銅鑼道路崩潰。因是。救護班艱難。在州廳全力修理道路。南庄。臺車軌道。不日復舊。竹南郡役所。二十二日午後二時步到。因前小時。即午後一時。因餘震。郡廳舍。郡倒壞。故大廈舍棲止。聽郡守報告之時。再有餘震。死如戰時氣分。然均有倒壞。朝不宮媧祖廟。後。給與糧品。余巡遇此慘禍。而得好醫藥。且于大甲郡下。大地震。全滅。沙鹿梧棲二地方。亦幾全滅。即沙鹿市區內。電話。于午後。部開通。電信。自動車。先得開通。電信。東京。百分三云。二十五日。

對罹災者
臨時治療

災害負傷者。一時彌多。各醫館應接不暇。當局急設臨時治療所于三角公園內。邀集各地開業師。應急治療。

中壢部落改善
開座談會

大震災罹災者救助金所開。開磋商會。限至來二十七日交付街役場磋務係。是時有鄭沙棠氏。即席醵出金三十圓。林欽垣林再兩氏。各醵出金二十圓。

斗六街民
協議義捐

斗六街當局。去二十四日午後二時。假街會議室。招集街協議會員。方面委員。區委員。就中部地方大震災罹災者救助金所開。

兩海軍司令部合併
陳濟棠氏兼任司令
十八日盛舉就任式

乃由臺中市。運到撒水車。與州協力從事應急。一般工事。二十五日中。由大甲溪。可得供給飲料水。又地震死傷。於家屋構造。深有關係。例若高水。日本式之建築物。全免于難。而負傷者數多。死亡之多。亦基因于此。又街路亦要整備云。

蘭陽多濕氣
栽麥亦成功
今後繼續研究

蘭陽地方栽培小麥。因雨量過多。從前視爲不合。然宜蘭農林學校。在二、三年前。苦心研究。已得自信。各年十月試栽。其後二十三日午前十時。街協發育亦佳。足證北部地方。議會員。各小公學校長。可能栽麥。據同學校試驗區委員。國語講習所講師等臨席之下。在公會堂。成績。至本年二月二十日收開催部落改善會座談會。種。至十一日。品質在郡土山庶務課長。長田視學列席。由莊助役敘禮。長田視學。對部落改善之內容詳細說明。交換意見正午散會。

派遣慰問使
歸還臺北
兩海軍司令部合併
陳濟棠氏兼任司令
十八日盛舉就任式

交通局長代理鐵道部西尾二十四日歸北云。

西螺斗南間
敷下砂利

西螺斗南間。縱貫道路。由百五十圓。爲本年度。計百十一日。品質在水。可得供給飲料。又地震死傷。於家屋構造。深有關係。例若高水。日本式之建築物。全免于難。而負傷者數多。死亡之多。亦基因于此。又街路亦要整備云。

蘭陽多濕氣
栽麥亦成功
今後繼續研究

蘭陽地方栽培小麥。因雨量過多。從前視爲不合。然宜蘭農林學校。在二、三年前。苦心研究。已得自信。各年十月試栽。其後二十三日午前十時。街協發育亦佳。足證北部地方。議會員。各小公學校長。可能栽麥。據同學校試驗區委員。國語講習所講師等臨席之下。在公會堂。成績。至本年二月二十日收開催部落改善會座談會。種。至十一日。品質在郡土山庶務課長。長田視學列席。由莊助役敘禮。長田視學。對部落改善之內容詳細說明。交換意見正午散會。

開座談會
中壢部落改善

災害負傷者。一時彌多。各醫館應接不暇。當局急設臨時治療所于三角公園內。邀集各地開業師。應急治療。

對罹災者
臨時治療

災害負傷者。一時彌多。各醫館應接不暇。當局急設臨時治療所于三角公園內。邀集各地開業師。應急治療。

斗六街民
協議義捐

斗六街當局。去二十四日午後二時。假街會議室。招集街協議會員。方面委員。區委員。就中部地方大震災罹災者救助金所開。

兩海軍司令部合併
陳濟棠氏兼任司令
十八日盛舉就任式

乃由臺中市。運到撒水車。與州協力從事應急。一般工事。二十五日中。由大甲溪。可得供給飲料水。又地震死傷。於家屋構造。深有關係。例若高水。日本式之建築物。全免于難。而負傷者數多。死亡之多。亦基因于此。又街路亦要整備云。

蘭陽多濕氣
栽麥亦成功
今後繼續研究

蘭陽地方栽培小麥。因雨量過多。從前視爲不合。然宜蘭農林學校。在二、三年前。苦心研究。已得自信。各年十月試栽。其後二十三日午前十時。街協發育亦佳。足證北部地方。議會員。各小公學校長。可能栽麥。據同學校試驗區委員。國語講習所講師等臨席之下。在公會堂。成績。至本年二月二十日收開催部落改善會座談會。種。至十一日。品質在郡土山庶務課長。長田視學列席。由莊助役敘禮。長田視學。對部落改善之內容詳細說明。交換意見正午散會